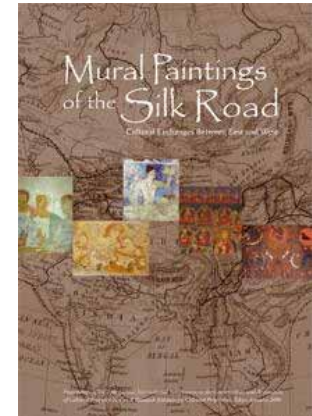


第 29 回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会報告書 (セ 09-06-1/1)

2006 年 1 月 24 日～26 日に国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室で開催したコロキウムと、1 月 28 日に東京国立博物館平成館講堂にて開催したシンポジウムの際の、各発表及び討論をまとめたものである。英語版及び日本語版をそれぞれ刊行した。



*** *Mural Paintings of the Silk Road: Cultural Exchanges between East and West***

Shigeo AOKI, Preface

Norio SUZUKI, Foreword

Acknowledgements

Yoko TANIGUCHI, Introduction

Part I : Art, History and Cultural Exchange of the Mural Paintings

David PARK, Mural Painting in Transcaucasia

Frantz GRENET, The 7th-century AD 'Ambassadors' Painting' at Samarkand

Kosaku MAEDA, Mural Paintings along the Silk Road

Akira MIYAJI, Indian Influence on Mural Paintings along the Silk Road

Ken OKADA, Buddhist Mural Paintings in China

Akio DONOHASHI, Ancient Painted Tumuli in China

KIM Lena, Chinese and Central Asian Connection in the Koguryo Mural Paintings

Shumpei IWAI, Radiocarbon Dating and Art-Historical Studies in Central Asian Mural Paintings

Akiyoshi WATANABE, Japanese Mural Painting

Discussion 1. Aspects of Cultural Contact: Diffusion, Acculturation and Creation

Part II : Influence on Painting Techniques and Materials

Nobuaki KUCHITSU, Impact of the Introduction of Buddhism on the Variation of Pigments used in Japan

Ioanna KAKOULLI, Intercultural Links and Trade of Painting Materials in the Greco-Roman Period

Alexander KOSSOLAPOV, Kamila KALININA, The Scientific Study of Binding Media and Pigments of Mural Paintings from Central Asia

Motomitsu MOMII, Hiromitsu SEKI, Displaced Cultural Properties: Non-Invasive Study on Mural Painting Fragments from Bamiyan

SHARMA R. K., Painting Techniques and Materials of Cave Mural Paintings in India and their Conservation Problems

MA Tao, QI Yang, ZHOU Weigang, YANG Qinying, A Comprehensive Survey on the Techniques of Ancient Wall Paintings in the Western China

WANG Xudong, FU Peng, Summary of Painting Materials and Techniques of the Mogao Grottoes

Discussion 2. Painting Materials and Techniques of the Mural Paintings along the Silk Road

Part III : Key Issues on the Conservation of the Mural Paintings along the Silk Road

Sadatoshi MIURA, Conservation of Mural Paintings of Takamatsuzuka Tumulus and its Current Situation

Sadatoshi MIURA, The History and Current Situation of Conservation of Mural Paintings in Japan
KIM Yeon-mi, KANG Hyung-tae, Conservation Treatments for the Wall Paintings of Central Asia
possessed by the National Museum of Korea

Yoko TANIGUCHI, Issues of Conservation for the Bamiyan Buddhist Mural Paintings

Adelia BLIAKHER, Vera FOMINYKH, Conservation and Restoration of Monumental Painting from
Archaeological Excavations

WANG Xudong, Conservation of Mural Paintings in Western China and of the Mogao Grottoes

Rocco MAZZEO, Edith JOSEPH, Silvia PRATI, Vanna MINGUZZI, Giancarlo GRILLINI, Pietro
BARALDI, Daria PRANDSTRALLER, Scientific Examination of Mural Paintings of the Koguryo Tombs

Sharon CATHER, Issues in the Conservation of Mural Paintings: Past and Present

Discussion 3. Issues in the Conservation of Mural Paintings

Discussion 4. Mural Paintings of the Silk Road: Their Conservation and Future Issues

* 『シルクロードの壁画（第29回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「シルクロードの壁画が語る東西文化交流」コロキウム・シンポジウム報告書）（日本語版報告書）

鈴木規夫「序にかえて」

谷口陽子「シルクロードの壁画が語るものとは？」

I 壁画美術とその交流史

デイヴィッド・パーク「トランス・コーカサスにおける壁画」

フランツ・グルネ「サマルカンド出土『使節の壁画』に関する最新の研究」

前田耕作「シルクロードの壁画」

宮治昭「インドからみたシルクロードの壁画」

岡田健「中国の仏教壁画」

百橋明穂「中国の古墳壁画」

キム・リナ「高句麗古墳壁画にみられる中国と中央アジアの関連について」

岩井俊平「中央アジアの壁画の放射性炭素年代と美術史編年の比較」

渡邊明義「日本の壁画美術」

ディスカッション I : 「文化交流の諸相（伝播・受容・変容・創造）」

II 壁画製作技法の波及：材料と絵画技法

朽津信明「仏教伝来前後の日本で用いられた顔料の特徴について」

イオアナ・カクウリ「グレコ=ローマ時代における絵画材料の異文化間交流と交易」

アレクサンダー・コソラポフ、カミラ・カリニーナ

「中央アジアの壁画における膠着材および顔料に関する科学的分析」

初井基充、関博充「流出文化財バーミヤーンの仏教壁画に関する材料と絵画技法の非接触調査」

ラジンダー・クマール・シャルマ「インドにおける石窟壁画の彩色技法および材料とその保存について」

馬濤、齊揚、周偉強、楊秋穎「中国西域における古代壁画技術に関する包括的調査」

王旭東、傅鵬「敦煌莫高窟における壁画材料と技法」

ディスカッション II : 「シルクロード地域の壁画材料と絵画技法」

III シルクロード周辺地域における壁画保存の現状と課題

三浦定俊「高松塚古墳壁画の保存と現状」

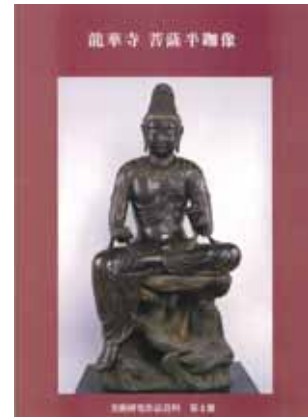


三浦定俊「日本における壁画保存の歴史と現状」
 カン・ヒョンテ、キム・ヨンミ「韓国国立中央博物館所蔵中央アジア将来壁画の保存処理」
 谷口陽子「バーミヤーン仏教壁画の保存とその課題」
 アデリア・ブリアヘル、ヴェラ・フォミニーフ「遺跡から出土した壁画の保存と修復」
 王旭東「中国西域および敦煌莫高窟における壁画保存について」
 ロッコ・マツエオ、エディス・ジョゼフ、シルヴィア・プラティ、ヴァンナ・ミングッツィ、ジャンカルロ・グリッリーニ、ピエトロ、バルルディ、ダリア・プランスタレル
 「高句麗古墳壁画の自然科学的分析調査について」
 シャロン・カーター「壁画保存の歴史、現状と課題」
 ディスカッション III：「壁画保存研究の課題と展望」
 ディスカッション（シンポジウム）：「シルクロードの壁画：そしてその保存とこれからの課題」
 青木繁夫「あとがき」

『龍華寺 菩薩半跏像 美術研究作品資料 第四冊』（美01の一環として実施）

美術部のプロジェクト「東アジアの美術に関する資料学的研究」の報告書。今年度は横浜市龍華寺に伝来する菩薩半跏像の調査報告をまとめ、『美術研究作品資料』第四冊とした。版型は B4 判。モノクロ、カラー口絵あわせて 48 頁。本文 44 頁。本文は次のように、論文、調書、英文要旨で構成されている。

津田徹英「横浜・龍華寺蔵 脱活乾漆造菩薩半跏像をめぐる知見」
 津田徹英「【調書】菩薩半跏像」
 津田徹英「【参考調書】如来像頭部 兵庫・金蔵寺」
 英文要旨



『黒田清輝著述集』（美02の一環として実施）

美術部では日本近代洋画の礎を築き、また当研究所の創設に大きく与った画家、黒田清輝について、これまでさまざまな角度から研究を行ってきたが、今年度は彼が新聞や雑誌に遺した談話や文章を集成した『黒田清輝著述集』を編集・刊行した。

黒田の著述を集めたものとしては、すでに『絵画の将来』（中央公論美術出版、1983 年刊）があるが、今回は、先行書では未収録のものにその後新たに確認されたものを加え、長短あわせて 152 篇もの記事をおさめた。自身の制作に関する談話はもちろん、美術行政家として手腕を發揮した黒田らしく展覧会や美術館についての提言、さらには歌舞伎の素人評や自らの失敗談など内容も多岐にわたっている。採録した記事の末尾には適宜注釈を入れ、また文字も原典の字体を可能な限り忠実に再現して、掲載当時の雰囲気や極力伝えるようにした。

